

平成28年度 横浜市立二俣川小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

はじめに

- 平成26年度から、国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局と連携して開催している「交通バリアフリー教室」について、本年度は横浜市立二俣川小学校で実施しました。
- 二俣川小学校は、二俣川駅から約250mと、駅まで非常に近いため、駅へ行くためにバスやタクシーを日常的に使う子どもはほとんどいない状況にあります。

1 交通バリアフリー教室の全体概要

- 交通バリアフリー教室は、横浜市の担当する「交通バリアフリー」に関する座学とともに、実際の福祉車両や車いす等を使った体験プログラムも行われました。
- 二俣川小学校は周辺道路が狭く、バスが学校まで入れないため、タクシー事業者である神奈川都市交通の協力のもと、ユニバーサルデザインタクシー及び福祉タクシーを利用した体験を行いました。
- また、体育館を利用して、車いすや視覚障害者の体験用のコース（幅の狭い通路、段差、坂道など）をつくり、実際に車いす、視覚障害者の疑似体験学習を行いました。
- 横浜市は、③の座学を担当し、タクシー及びバスのバリアフリーの現状を伝えるとともに、モビリティマネジメントの大切さを伝えました。

■交通バリアフリー教室について

【日時】平成28年11月15日(火)
第1～4校時(9:00～12:10)

【対象】二俣川小学校
4年生1～3組(100人)

【内容】①ユニバーサルデザインタクシー、福祉タクシーの乗車体験
②車いす、視覚障害者疑似体験
③タクシー及びバスのバリアフリーに関する座学

→はじめに①②をクラス毎に体験
→続いて合同で③座学を実施



全体説明



視覚障害者体験



車いす利用体験・介助体験



ユニバーサルデザインタクシー



ユニバーサルデザインタクシー



福祉タクシー(ストレンジャー)

2 「誰でも自由にお出かけできる 交通バリアフリーのおはなし」の内容

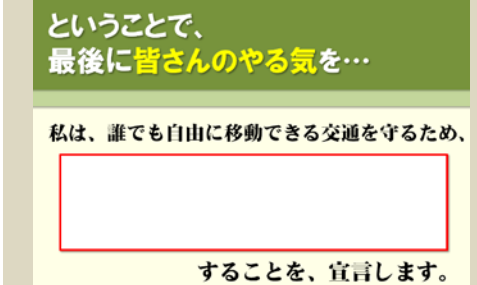
- 体験学習が終わった後、「交通バリアフリーのおはなし」と題して、全クラス合同で座学を行いました。車いすの方もお年寄りも、誰もが使いやすい交通サービスを目指して取り組んでいるバリアフリーの現状を中心に授業を行いました。
- 体験したユニバーサルデザインタクシー及び福祉タクシーのこと、バリアフリー対応のバスのことを、クイズや質問も交えながら説明しました。
- また「便利なクルマに頼りすぎず、タクシーやバスの利用も考えてみる」など、心がけてほしいことを伝えました。
- 座学の最後には、「私は、誰でも自由に移動できる交通を守るため」から始まる【宣言】のスライドを示し、授業で感じたこと、気付いたことを、自分の言葉で、みんなの前で、大きな声で宣言してもらいました。
- 「もっとたくさんバスを使ってみる」とか、「できるだけクルマを使わない」、「困っている人がいたら声をかける」など、「モビリティマネジメント」や「バリアフリー」に大切な言葉を、子どもたちの口から宣言してくれました。

■座学に用いた教材

①説明用パワーポイント



②自分の言葉で「宣言」してもらうためのスライド



パワーポイントを用いて、図書館で座学を行いました。真剣に話を聞き、クイズにも積極的に参加してくれました。



体育館に、車いす体験、視覚障害者体験のためのコースを作り、全員の子どもたちが体験しました。介助の大変さ、車いす等の不安を感じてくれたと思います。



ユニバーサルデザインタクシーだけでなく、座ることもできない人でも利用できる福祉タクシーも用意されました。実際に寝た状態でリフトアップされ、子どもたちも驚いていました。

おわりに

- 今回の交通バリアフリー教室を経験して、車いすで移動することの大変さ、目の見えない人が感じている不安とともに、移動に係る介助の難しさ、大変さを肌にした子どもたちがたくさんいました。
- 子どもたちが、これからもバスやタクシーなど公共交通を上手に使い、困っている人がいたらサポートするきっかけとなる「交通バリアフリー教室」となりました。
- タクシー運転士さんに積極的に質問しながら、バリアフリーの事だけでなく、タクシーの様々なことを学び、子どもたち自身もいつも以上に公共交通のことを身近に感じてくれた1日になったと思います。